

平成27年度  
文化芸術事業企画書

**平成27年度企画書(文化芸術交流事業事務)**

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	13美術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。</li> <li>・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。</li> <li>・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。</li> </ul>				
対象	市民		日時 (予定)	下記のとおり	
内容	実施日	内容		会場	
	11月22日(日)	福岡Iブロック 「芸術文化のつどい」		宇美町中央公民館	
	11月27日(金) ～12月2日(水)	糟屋地区美術展		レスポワール久山	
	<p>【福岡Iブロック芸術のつどい】 粕屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。毎年古賀市～3団体(10人～20人)が出演する。</p> <p>【粕屋地区美術展】 粕屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p>文化協会へ事務委託。</p>				
展望	<p>近隣市町村の文化芸術についての情報の収集、そして意見交換の出来る貴重な機会であり、古賀市が誇れる宝を市外に発信する機会でもあり、古賀市の文化度を測る基準にもなり、近隣との広域的なネットワークづくりにもなる。しかし、市民への知名度は低く、市民公募をするうえでさらなる浸透が必要である。</p> <p>ポスター・チラシ等での周知やHPを使った周知を積極的に行い、さらなる市民の文化芸術の意識の向上を行っていききたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
120,000円			140,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	140,000	文化芸術振興事業委託事業(文化芸術交流事務) 140,000円	
合計			140,000		
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期					

## 平成27年度企画書(こども美術展)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもたちの作品にふれる機会を提供する。</li> <li>・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。</li> </ul>				
対象	市内在住の小中学生	日時 (予定)	2月26日(金)～28日(日)		
内容	実施日	スケジュール			
	平成28年2月25日(木)	作品搬入			
	26日(金)～28日(日)	作品展示(サンフレアこが 2階ギャラリー)			
	3月1日(火)	作品搬出			
	小中学校の児童・生徒の作品を募集し、審査を行い、特に優秀だった作品を展示・表彰する。				
展望	<p>すでに学校には浸透している事業となっているが、出展数が少ない学校もあるため、呼びかけを繰り返し、平等に児童・生徒が参加できるよう促す。</p> <p>また、より多くの方が子どもたちの伸びやかな感性に触れ、普段とは違う視点から絵画を楽しんでもらえるよう、子どもを通してその家族、親族、友人などにも周知していく。</p> <p>文化協会への委託事業。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
270,000円			270,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	270,000	文化芸術振興事業委託事業(こども美術展) 270,000円	
合計			270,000		
備考					
古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期					

## 平成27年度企画書(公共施設美術品展示)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	13美術振興事業費	中事業	1美術振興事業	小事業		
目的	・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 ・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。					
対象	市民	日時 (予定)	年間通して1ヵ月半ごとに絵を交換			
内容	実施日	展示予定作品	ジャンル	作者		
	4月～4月末	第42回糟屋美術展入賞 ふじの頃	絵	オオクワ クニコ 大桑 邦子		
	5月～5月末	MOA美術展大賞	絵	コガ 古賀 ニコリ		
	6月～6月末	第42回糟屋美術展無鑑査	絵	ヤスマツ テルコ 安松 照子		
	7月～7月末	第42回糟屋美術展入賞 仏門の誓	写真	アサカワ タケオ 浅川 武夫		
	8月～8月末	第42回糟屋美術展無鑑査 ブナ林	絵	フナコシ 船越 ヨシ子		
	9月～9月末	第42回糟屋美術展無鑑査 杉木立	絵	フナコシ ヒデミ 船越 秀美		
	10月～10月末	第42回糟屋美術展無鑑査 夜座	書	ヤノ ハツコ 矢野 初子		
	11月～11月末	第42回糟屋美術展入賞 メルヘンチック	写真	ナガサキ ケイジ 長崎 敬次		
	12月～12月下旬	賞受賞作品	絵	コガ キョウイカンコウトウ ガッコウ 古賀 寛成館高等学校		
	1月上旬～1月末	第42回糟屋美術展入賞 しだれ桜	絵	シバタ ミチエ 柴田 美知枝		
	2月～2月末	第42回糟屋美術展入賞 土筆	絵	ハラダ ヨウジ 原田 洋治		
	3月～3月末	古賀市こども美術展 市長賞	絵	未定		
		糟屋美術展、MOA子ども美術展、古賀市子ども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。1ヶ月ごとに作品を入れ替え、合計12回の絵画の交換を行っている。				
	展望	鑑賞してもらい喜びや、鑑賞する楽しみを感じてもらい、作品出展や創作への意欲を高め、更なる文化芸術活動の促進につなげる。				
H26年度予算額			H27年度予算額			
100,000円			89,000円			
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
11需用費	1消耗品	1消耗品	89,000	キャプション用プレート費用等消耗品		
	合計		89,000			
備考						
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期						

## 平成27年度企画書(芸術祭)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<p>・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</p> <p>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</p>				
対象	市民	日時 (予定)	5月15日(金)～17日(日)		
内容	実施日	内容	スケジュール		
	5月14日(木) ～15日(金)	舞台芸能	個別リハーサル		
	16日(土)		舞台仕込み		
	17日(日)		本番 舞台発表(リーパスプラザ 大ホール)		
	5月14日(木)	作品展示	作品搬入		
	15日(金)		本番 作品展示 (リーパスプラザ エントランスロビー) (サンフレアこが 2階 ギャラリー)		
	16日(土)				
	17日(日)				
	19日(火)		作品搬出		
	指導者・師匠クラスのグレードの高い展示・舞台演技を、無料で鑑賞できるとともに、郷土芸能や昔から引き継がれてきた文化に触れることが出来る。 舞台芸能では、特別ゲストおよび市民ゲストの演技披露がある。 文化協会への委託事業。				
展望	本事業を通して、芸能、芸術に興味関心をもつ市民の増加、また、本事業が若い世代との交流の場となり、次世代への引継ぎにつながることを目指す。そのためには更なる周知が必要であり、まだまだPR面では改善の余地が見られる。フリーペーパー等の情報誌を積極的に活用する。 展示の出展が減少している傾向にあるので、出展者の発掘が必要である。委託先である文化協会も新しい取り組みを行っており、今後、更なる盛り上がり期待できる。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
700,000円			700,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	700,000	文化芸術振興事業委託事業(芸術祭) 700,000円	
合計			700,000		
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

**平成27年度企画書(文化祭)**

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。 ・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。				
対象	市民		日時 (予定)	11月21日(土)～23日(月祝)	
内容	実施日	内容	スケジュール		
	11月15日(日) ～19日(木)	舞台芸能	リハーサル		
	20日(金)		仕込み、舞台準備		
	21日(土)		本番 舞台発表 (リーパスプラザ 大ホール)		
	22日(日)				
	23日(月祝)				
	19日(金)		作品展示	搬入	
	21日(土)	本番 作品展示 (リーパスプラザ 大会議室・ロビー)			
	22日(日)				
	23日(月祝)				
	24日(火)	搬出			
	古賀市で活動する市民の展示・舞台演技を、3日間無料で鑑賞できるとともに、郷土芸能や昔から引き継がれてきた文化に触れることが出来る古賀市最大の文化の祭典。 文化協会への委託事業。				
展望	市民が参加しやすい、興味を引きやすい企画を考えていく。市最大の文化の祭典なので、市全体で盛り上がるように特色あるイベントにしていきたい。また、多くの市民が参加・鑑賞・体験することで、より身近に文化芸術を感じてもらい、市民全体に文化芸術振興の意識付けを拡げていく。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
800,000円			800,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	800,000	文化芸術振興事業委託事業(文化祭) 800,000円	
合計			800,000		
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

## 平成27年度企画書(地域の魅力発見講座)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での文化芸術活動の活性化をめざし、公民館や新たな活動場所を開拓する。</li> <li>・文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用する。</li> <li>・古賀市が誇る文化芸術に関する知識、技能、能力を後世に引き継ぐため、発信、伝承、還元する機会の提供と共に、子どもから大人まで幅広い世代の地域に文化芸術活動を推進する人材を掘り起こし、育成する。</li> </ul>				
対象	市民		日時 (予定)	年間3回	
内容	実施日	校区	内容		
	10月	花見	海岸で流木や貝殻を拾い、毛糸と組み合わせて素敵な飾り物をつくろう。		
			講師	彩り工房 田辺 一美(たなべ ひとみ) さん	
	10月	小野	竹の伐採から体験！おしゃれな竹の花瓶作り。		
			講師	森部 忠彦(もりべ ただひこ) さん	
	10月	古賀西	海岸で貝殻を拾って、自分だけのアクセサリをつくろう。		
講師			一国会(じゅうにや) 出雲 愛佳(いずも あいか) さん		
①地域で活躍している方を講師とする。 ②その地域の公民館を使うことで、市民に地域の公民館に親しんでもらい、新たな活動場所として開拓する。 ③公民館内だけで講座をするのではなく、地域を歩き回ること、地域の魅力を再発見してもらう。 定員 先着20名 その他 会場までは市のバスで向かう。駐車場が少ないため、歩きまたは自転車のみ現地集合を可。					
展望	まだ立ち上がって2年目の企画ということもあり、市民に認知されていない。参加者の評価はとても高いので、行政区や別事業などを通して広く周知を行っていく。新しい講師の発掘を積極的に行い、人材のリスト化を目指す。古賀市で行われている素晴らしい活動を後世へ引き継ぐために、継ぎ手を育成する。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
117,000円			83,900円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	30,000	講師謝礼 2,500円×3回×4人	
14使用料 及び 賃借料	10会場借上料	1会場借上料	4,500	会場費 1,500円×3回	
		1会場借上料	6,000	空調機使用料 400円×3回×5時間	
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	43,400	印刷製本費チラシ 43,400円	
合計			83,900		
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 長期					

## 平成27年度企画書(レッツライ！プロジェクト)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。</li> <li>・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。</li> <li>・団体の自立を支援する。</li> </ul>				
対象	古賀市を拠点として活動する文化芸術活動団体	日時(予定)	年間3回		
内容	実施日	開催事業		内容	
	9月	文化芸術団体育成ワークショップ		古賀市の眠っている「宝」をみつけよう！	
	9月			古賀市の「宝」をどうすればおこせるか考えよう！	
	10月			実際に助成金に申請してみよう！	
<p>①古賀の眠っている宝を起こす・探すバスツアー＋ゲスト 候補：ナダヨシ、薬王寺温泉街、水辺公園、興山園、川原天満宮、川原庵(せげんだ)公園、歩いてん道薬王寺コース、博多包丁の職人 など →身近なところから文化芸術を見つけてもらう</p> <p>②見つけた魅力をもとに、文化芸術をいかしてどのように活用できるかみんなで話し合う。</p> <p>③実際に助成金の申請書を記入し、提出する。</p>					
展望	<p>古賀市の文化芸術を盛り上げたい、古賀市を盛り上げたい、そんな思いを抱いている市民と古賀市で活動している個人・団体をつなげる。 古賀市のまだ眠っている宝を、文化芸術という方法で、掘り起こし、周知し、引き継いでいきたい。そのためには、更なる人材の発掘を行う必要がある。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
90,000円＋流用(13,000円)＝103,000円			175,500円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	1報償費	32コーディネーター謝礼	12,500	コーディネーター 2,500円×5回	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	120,000	講師謝礼 30,000×4回	
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	43,000	印刷製本費チラシ 43,000円	
合計			175,500		
備考					
眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 行政がおこす — 長期					



## 平成27年度企画書(アート・バス)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。				
対象	古賀市内小中学校 児童・生徒	日時 (予定)	下記のとおり		
内容	実施日	対象	会場	企画展および 常設展示を鑑賞	
	6月27日(土)	全小学校	福岡市立美術館		
	7月下旬	舞の里小、千鳥小、花見小	アジア美術館		
	9月下旬	古賀中、古賀北中、古賀東中	福岡県立美術館		
	12月上旬	花鶴小、古賀西小、古賀東小	福岡県立美術館		
	2月下旬	青柳小、小野小	福岡市美術館		
	古賀市内の小・中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。				
展望	<p>中学生の参加が極端に少ないので、広報等を活用し、広く周知をしていくとともに、学校とも協力し、生徒への呼びかけを行っていく。</p> <p>違う視点で鑑賞する方法を学んでもらい、芸術をもっと楽しんでもらえるように工夫する。</p> <p>また、ボランティアとともにアイデアを出し、ともに学べるよう、しっかりと打合せ、反省を行っていく。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
204,000円			148,400円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	1報償費	21スタッフ謝礼	50,000	スタッフ謝礼 1,000円×5回×10人	
14使用料 及び 賃借料	1使用料	21美術館等入場料	78,000	美術館入館料 1,200円×5回×13人	
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	12,400	有料道路使用料 620円×5回×2台×2(往復)	
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	8,000	駐車場利用料 200円×5回×2台×4時間	
合計			148,400		
備考					
古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期					

## 平成27年度企画書(計画管理事務)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	4文化芸術振興計画 管理事務費	小事業	
目的	<p>・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。                  ・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。</p>				
対象	審議委員	日時 (予定)	年間3回(1回2時間程度)		
内容	実施日	内容	スケジュール		
	5月	第1回文化芸術審議会	年間スケジュール		
	10月	第2回文化芸術審議会	前年度の事業報告		
	2月	第3回文化芸術審議会	来年度予算		
	* 突発的な協議のための予備日(1日)を含める。				
古賀市文化芸術振興計画とアクションプランに基づいて、進捗管理を行っていただく。					
展望	<p>年度初めに年間の活動予定を報告、次年度予算の編成前に前年度事業の実施報告を行い次年度予算について検討していく。また、年度末には前回の審議会の意見を踏まえた予算の報告を行い、次年度に繋げていく。30年には、5年間の進捗状況の報告を行い、審議を受けることとなる。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
395,600円			365,600円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
1報酬	2委員報酬	41文化芸術審議会委員 9人	270,000	文化芸術審議会委員 7,500円×4回×9人	
9旅費	1費用弁償		90,000	文化芸術審議会委員(日当) 2,500円×4回×9人	
12役務費	1通信運搬費	1通信運搬費	5,600	文化芸術審議会案内 140円×10人×4回	
合計			365,600		
備考					
環境づくり — 行政がおこす — 長期					

## 平成27年度企画書(童謡まつり)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力を幅広い世代に伝える。</li> <li>・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。</li> </ul>				
対象	市民	日時 (予定)	2月28日(日)		
内容	実施日	スケジュール			
	平成28年 2月25日(木)	仕込み			
	26日(金)	リハーサル			
	27日(土)	リハーサル			
	28日(日)	童謡まつり本番 リーパスプラザ 大ホール			
	<p>市民公募で参加者を募り、数十団体及び幼稚園・保育園が出演し、ステージで童謡を発表する。コンクールには約20名程度出場し、小学生以下の児童が課題曲と自由曲を歌って競う。</p>				
展望	<p>童謡まつりでは、ステージでの発表だけでなく、優秀者には表彰が行われる。子どもたちにとっては、公の舞台で発表する貴重な機会であり、また、表彰されることで、自信が付き、今後の文化芸術活動への足がかりになる。</p> <p>子どもだけでなく、大人になればさらに童謡にふれる機会は少なくなる。本事業はすでに市民に浸透しており、実施体制・応募数・観客数共に非常に安定しており、いい状態にある。福岡でも童謡まつりを行っている自治体はそう多くはないので、古賀の特色として、今後も続けていきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
1,330,000円			1,330,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	1,330,000	文化芸術振興事業委託事業(童謡まつり) 1,330,000円	
合計			1,330,000		
備考					
<p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期</p>					

## 平成27年度企画書(サロンコンサート)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を身近に感じてもらい、興味関心を高める。</li> <li>・生の演奏を気軽に、定期的に発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。</li> </ul>					
対象	市民		日時 (予定)	月1回 13:30~15:00		
内容	実施日	タイトル	出演団体		会場	
	5月24日(土)	一足早く、気分はハワイ!	Hana ALHA 岡はちとゆかいな仲間たち		リーパスプラザ 大会議室	
	6月21日(土)	梅雨空を吹き飛ばそう!	古賀マンドリンクラブ 古賀三線島協会		リーパスプラザ 研修棟104	
	7月19日(土)	水辺恋しや...	アンサンブルポピー ミュージカルオペラK・i		リーパスプラザ 研修棟104	
	9月20日(土)	暑さもまたよきかな	舞の里おやじバンド マカナアロハ		リーパスプラザ 研修棟104	
	10月18日(土)	秋風を感じて	吉住&サククス 舞オカリナ教室		リーパスプラザ 研修棟104	
	11月15日(土)	コスモスに囲まれて	女声コーラスコールウイング 古賀市市民劇団DAICOON		リーパスプラザ 研修棟201	
	12月13日(土)	聖この夜	ゴスペル集団オールフルーツ 看護大学ハンドベル+ゆいハンドベル		リーパスプラザ 研修棟104	
	1月24日(土)	新たな年を迎えて	女声コーラスアマビレ 糸の会		リーパスプラザ 研修棟104	
	2月28日(土)	梅の香りに誘われて	日本民謡大久保会 日本舞踊		リーパスプラザ 研修棟104	
	3月14日(土)	春の息吹を感じよう!	香雲堂吟詠桜峰会 Natural ONE		リーパスプラザ 研修棟104	
	カフェで聞くような、気軽にリラックスしながら聴けるコンサート。 出演者についても広報等で公募し、音楽発表してもらおう。 文化協会への委託事業。					
	展望	現在、発表者の市民公募に対する応募がほとんどない。大きな舞台での発表ではなく、身近で、発表しやすい機会は少ないので、市民の誰でも気軽に聴いて、見て、発表できるコンサートにするために、公募を行っていることについてさらなる周知が必要である。				
H26年度予算額			H27年度予算額			
250,000円			250,000円			
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	250,000	文化芸術振興事業委託事業(サロンコンサート) 250,000円		
合計			250,000			
備考						
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期						

## 平成27年度企画書(市民音楽祭)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1音楽振興事業	小事業	
目的	・古賀市の文化芸術振興に寄与し、公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 ・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。				
対象	市民		日時 (予定)	11月8日(日)	
内容	実施日	内容		会場	
	11月8日(日)	市民音楽祭 本番		リーパスプラザ 大ホール	
	古賀市文化協会の自主事業。 プロの歌手を招いての有料コンサートであるが、より多くの市民に本物の芸術に触れてほしいという思いから、古賀市民は通常料金から1000円の割引がある。 メインゲストはプロの音楽家、その他ゲストは市民活動団体が出演する予定。				
展望	【団体】 集客目標:700人。バラエティーにとみ、市民ニーズに合った出演者を招く。 【行政】市民音楽祭はすでに市民に根付いている事業であり、プロの音楽家と市民が共同で出演する貴重な機会である。入場料を徴収することで、よりグレードの高い事業展開ができ、なおかつ文化協会だからこそ持ちえる文化芸術活動団体との根強いネットワークを通して広域的な周知を行っている。古賀市民は無料の文化芸術に触れる機会の提供に慣れすぎているとの意見もある中、グレードの高い企画及び連携の取れた運営で、市民の文化芸術に対する興味・関心を刺激し、今以上の文化芸術に対する意識の高い市民の開拓・掘り起こしに寄与することを期待する。				
H26年度予算額			H27年度予算額		
1,500,000円			1,500,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	1文化芸術事業補助	1,500,000	音楽振興活動支援事業(市民音楽祭) 1,500,000円	
合計			1,500,000		
備考					
誇りをおこす — 行政がおこす 誇りをおこす — 団体がおこす					

## 平成27年度企画書(演劇ワークショップ)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業	
目的	・心豊かな人材育成、世代間交流、文化芸術振興を図る				
対象	参加者 小学生以上の市民 来場者 市民	日時 (予定)	12月26日(土)		
内容	実施日	詳細			
	5月2日(土)~3日(日) 10時~15時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 2,000円			
	5月9日(土) 19時~22時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 1,000円			
	7月4日(土)~5日(日) 10時~15時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 2,000円			
	7月11日(土) 19時~22時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 1,000円			
	12月26日(土) 午前の部(11時~) 午後の部(15時~)	内 容 市民劇団DAICOON第6回公演「嵐の夜~私の住むまち~」 会 場 リーパスプラザ 大ホール 入場料 前売り:1,200円(子ども500円)当日:1,500円(子ども700円)			
	古賀市内の小学3年生以上から一般成人を対象に舞台芸術の演劇を通して、表現力、創造力、コミュニケーション能力を養うため、演劇ワークショップを行う。また、古賀の歴史、文化、まちづくりを題材にオリジナル脚本、オリジナル曲を作成し、ワークショップ参加者も舞台体験が出来るよう一緒に公演を行う。				
展望	<p>【団体】 集客目標:1000人 創造的活動、演劇活動などの表現手法による、自分と異なる状況を擬似的に体験することにより、他者・自己認識の力や伝える力の向上、自己肯定感が自信を持つことにつながり、コミュニケーション能力の向上につなげる。</p> <p>【行政】 古賀市で唯一の子どもを巻き込んだ演劇団体であり、上記にも書いてあるとおり、古賀市の文化芸術振興だけでなく、大人子ども関係なくコミュニケーション力や自己表現力の向上に、大いに寄与する事業であると考えます。ただし、資金面の問題で自立が難しい。古賀市としても支援していくべき団体であるので、補助金終了後の支援体制をしっかりと検討していきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
500,000円			500,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,925,000	定期演奏会	473,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ	500,000円
				絵画プロジェクト	331,000円
合計			1,925,000		
備考					
<p style="text-align: center;">環境づくり</p> <p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす</p>					
			— 行政がおこす	— 短期	
			— 今ある宝を再認識する	— 団体がおこす	
			— 眠った宝を起こす	— 団体がおこす	

## 平成27年度企画書(絵画で古賀市を元気にするプロジェクト)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業	
目的	<p>・古賀市在住の児童の絵画表現活動の奨励支援を、下記の内容を中心に市民参加で推進するとともに、このことを学校、家庭、地域住民間の交流の促進、絆の強化を図り、協働の明るい「元気なまづくり」に貢献する。</p> <p>1.古賀市内における市内在住児童の絵画の展示                  2.作品の審査および表彰式の開催                  3.児童・保護者を対象とする絵画教室の開催</p>				
対象	出展者 市内在住の小学生 来場者 一般市民	日時 (予定)	2月28日(日)		
内容	実施日	スケジュール			
	平成27年4月	会議			
	6月下旬	児童作品募集案内			
	7～8月	絵画表現活動支援(絵画教室等)			
	9月初旬	児童作品回収			
	9月末	作品審査			
	12月11日(金)～13日(日)	作品展示 リーパスプラザ大会議室			
	12月12日(土)	表彰式 リーパスプラザ大ホール			
	10月中旬～3月中旬	コスモス館 びはらホーム			
	12月中旬～1月中旬	西鉄バス宗像			
	11月初旬～12月初旬	千鳥苑			
	3月下旬	児童作品返却			
	<p>上記他、一年間通じて必要に応じて市内各所に展示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市ない全小学校を対象に協力を経て、児童会が活動および作品の出展</li> <li>・児童、家族を対象とする絵画表現活動支援(絵画教室)</li> <li>・入選作品の展示</li> <li>・入賞者の表彰および表彰式の開催</li> <li>・外部協力団体、企業による協賛展示</li> <li>・児童作品返却</li> </ul>				
展望	<p>【団体】 平成27年度からの3年間で作品出展児童1,500人を目指す。また、絵画表現活動支援の活性化を目指す。さらに、賛同する企業・団体による作品展示においては、本年度は2～3箇所、3年間で6箇所を目指す。</p> <p>【行政】 他団体との共同で行っている事業で、広域的な協力体制が出来ており、安定した運営が行われている。補助金終了後も十分自立した事業実施が可能であり、今後はPRや周知の面で支援していきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
331,000円			331,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会	473,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ	500,000円
				絵画プロジェクト	331,000円
合計			1,594,000		
備考					
環境づくり		古賀市の個性を起こす		— 行政がおこす	— 短期
		— 今ある宝を再認識する		— 団体がおこす	
		— 眠った宝を起こす		— 団体がおこす	
古賀市の新しい魅力を興す		— ざわめきづくり		— 団体がおこす	



## 平成27年度企画書(第九演奏会)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業	
目的	・クラシック音楽の素晴らしさに触れ、自ら参加・体験(歌う、演奏する、鑑賞する)をすることで一体感を持てることや、古賀市の豊かな文化芸術の幅広さを市内外にアピールする。				
対象	市民		日時 (予定)	12月19日(土)	
内容	実施日	スケジュール			
	平成27年4月	合唱団員募集開始(広報、チラシ作成)			
	5月	オリエンテーション(合唱指導者、実行委員の紹介)			
	6月	練習開始(11月からオーケストラとの合同会議)			
	8月	ソリスト選定 各合唱団との連絡調整			
	9月	チラシ・ポスター・チケット作成			
	10月	広告協賛企業回り、各合唱団との合同練習			
	11月	プログラム作成			
	12月	演奏会関係者との打ちあわせ、プログラム完成、アンケート作成			
	12月18日(金)	リハーサル、来年度会場予約			
	12月19日(土)	演奏会本番 リーパスプラザ大ホール 開場:14時30分 開演:15時 曲目:交響曲「第九番」合唱つき			
	平成28年1月	反省会、アンケート集計			
市民や市近郊の中高大生等の合唱部や吹奏楽部を巻き込みながら、演奏を市民オーケストラ、合唱を公募した市民合唱団が行う。					
展望	<p>【団体】 昨年度はアンケート調査が出来なかったため、今年度はしっかりと実施していきたい。また、来場者を増やすために、学生は無料にすることで若年層の増加を図り、会場の客席を満席にする。</p> <p>【行政】 資金や運営に関しては安定した体制が確立されており、十分に自立可能な団体であり、二つの団体が共同して事業実施を行っているモデルケースである。 今後の支援方法としては、周知やPR面で行ってきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
409,000円			409,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,925,000	定期演奏会	473,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ	500,000円
				絵画プロジェクト	331,000円
合計			1,925,000		
備考					
<p style="text-align: center;">環境づくり</p> <p>古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期</p> <p style="text-align: center;">環境づくり — 団体がおこす — 団体がおこす</p>					



## 平成27年度企画書(夏休みこども体験教室)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業	
目的	・古賀市内のこどもたちに、文化芸術を体験してもらうことで、文化芸術に対する興味・関心を引き出す。				
対象	市内在住の幼児～中学生	日時 (予定)	下記記載		
内容	実施日	スケジュール			
	平成27年1月～2月	講座と講師を募集			
	3月末	当年度講座および講師の決定			
	4月初旬	研修棟の申し込み			
	5月	古賀市行事予定表裏面に掲載			
	5月	古賀市広報に掲載			
	6月初旬	チラシと申込書を市内小・中・幼稚園各所に配布(約6,500枚)			
	7月初旬	申し込み受付			
	7月下旬～8月上旬	体験教室の開催 リーパスプラザ研修棟(21講座実施予定)			
	ダンス、詩吟、フラダンス、バレエ、浴衣の着付け、お茶、書道、絵画、工作、パン作り、お菓子作りの教室を各2回ずつ開催予定。				
展望	<p>【団体】 文化協会を知ってもらう。また、子どもたちが生涯学習の出発点として、文化芸術を感じ、自分の好きなこと、合っていることを探してもらいたい。</p> <p>【行政】 子どもたちを対象に文化芸術の様々な体験ができ、非常に公益性および市民ニーズが高い事業である。実施体制も安定しているので、あとは資金面の問題解決が必要である。団体と今後の展開をしっかりと検討していきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
212,000円			212,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会	473,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ	500,000円
				絵画プロジェクト	331,000円
合計			1,594,000		
備考					
<p style="text-align: center;">環境づくり — 行政がおこす — 短期</p> <p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 団体がおこす</p> <p style="text-align: center;">誇りをおこす — 団体がおこす</p>					

## 平成27年度企画書(定期演奏会)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業	
目的	<p>・幼い子どもからお年寄りまで出来るだけ多くの市民の方や、日頃生のオーケストラ演奏になじみのない方に低料金で古典の名曲に接していただき心の安らぎと感激を提供したい。</p> <p>・地元の小中高生の参加や、身体障害者、独居高齢者等の方々への演奏会の招待等を行い、クラシック音楽の体験・鑑賞の機会を作ると同時に古賀市より近隣市町はもとより全国へ古賀市の文化芸術のレベルの高さを発信する。</p>				
対象	市民	日時 (予定)	6月13日(土)		
内容	実施日	スケジュール			
	平成26年6月	会場予約			
	12月	選曲決定、楽譜準備、編成打合せ開始			
	平成27年1月	練習会場4月以降分予約			
	2月	講演依頼、ポスター・チラシデザイン検討			
	3月	指揮練習開始			
	4月	学校、施設、団体(老人会等)へご案内訪問 プログラム作成			
	5月	ステージ打合せ、当日会場スタッフとの打合せ			
	6月	本番 リーパスプラザ 大ホール			
		<p>【演奏曲目】                      ボロディン作曲「中央アジアの草原にて」、メンデルスゾーン作曲「バイオリン協奏曲」、                      チャイコフスキー作曲「交響曲第5番」                      入場料 前売り:1,000円 当日:1,200円 高校生以下無料</p>			
展望	<p>【団体】                      26年度実績では有料来場者150名程度、学生、障がい者等の招待者は80名程度であった。今年度は、あらゆる媒体を通じ500名程度まで集客したい。また、同時に団員も募集し、15名程度の増加を図りたい。</p> <p>【行政】                      古賀市唯一のオーケストラ団体である。資金面の問題解決、団体の増員が必要であり、補助金終了後の展開を団体と共に検討していきたい。</p>				
H26年度予算額			H27年度予算額		
473,000円			473,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,925,000	定期演奏会	473,000円
				夏休み子ども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ	500,000円
				絵画プロジェクト	331,000円
合計			1,925,000		
備考					
環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 団体がおこす					